

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		総合運動公園管理運営事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 030402000085	
総合計画の施策名		0304 生涯スポーツ活動の振興				単独		090501	
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業		対象外	
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト		対象外	
基本事業名		02 スポーツ施設の充実と有効利用				未来PJ事業		対象外	
財務会計上の位置付け		事業期間				合併建設計画事業		対象外	
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
01	10	06	02	03	00		運動場管理事業(岩)		
法令根拠							単年度繰返し (平成6年度~)		
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
所在 桜川市岩瀬2685-14 多目的グラウンド(21,400㎡ 軟式野球、ソフトボール、サッカー等) テニスコート(5,050㎡ 人工芝コート7面 ナイター設備4面) 芝生広場(10,800㎡サッカー1面) ターゲットボードゴルフ場(9ホール) 桜川市のスポーツの拠点として位置づけられている総合運動公園である。 年間35,000人の利用がある。特にテニスコートの利用は15,300人/年 と多くの利用者があり、週末の利用に際し、利用料金に見合う管理を心掛けています。また、土・日曜日の多目的グラウンドにおいては、サッカーや野球等、幾多の種目の競技となるため、事前に会場準備ができるよう、グラウンドの整備については、特に注意し施設の管理・運営・調整にあつてはいます。	管理運営には、市職員6名臨時職員1名(5名採用)が従事しています。体育館の利用にあつては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で利用することが出来ます。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収している。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
体育館の管理運営などの利用にあつては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で利用することが出来ます。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収しています。	利用可能日数	日	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口(常住人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民のスポーツ活動の促進、体力づくり、健康づくりを行ってもらう	体育施設を利用してスポーツ活動を行った人数	人	36,923.00	38,000.00	38,000.00	38,000.00	38,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	2,272	2,200	2,335	2,330	2,330	0
		その他	千円	179	179	160	160	160	0
		一般財源	千円	15,836	18,541	17,695	17,710	17,710	0
事業費計(A)		千円	18,287	20,920	20,190	20,200	20,200	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	時間	653.30	407.00	400.00	400.00	400.00	
		人件費計(B)	千円	1,895	1,181	1,160	1,160	1,183	
トータルコスト(A)+(B)		千円	20,182	22,101	21,350	21,360	21,383		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	01 報酬	5,324		01 報酬	6,336	
	09 旅費	85		09 旅費	120	
	11 需用費	5,834		11 需用費	3,948	
	12 役務費	53		12 役務費	57	
	13 委託料	1,640		13 委託料	1,700	
	14 使用料及び賃借料	7,547		14 使用料及び賃借料	7,547	
	16 原材料費	400		16 原材料費	482	
	18 備品購入費	37				
	合計	20,920		合計	20,190	

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	総合運動公園管理運営事業	事務事業No.	30402000085	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
総合運動公園の建設に伴い、平成9年度から施設の利用が開始された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
芝生広場においては、経年使用の為張替えの要望多数ある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	安全管理をするうえで必要不可欠な工事費、修繕等の予算獲得が困難な状況であるが利用者を考慮し、今後は交付金事業の投入を検討すべきである。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 体育館の運営・維持管理を行うことで、市民が体育館を利用してスポーツを楽しむことができるようになることは「生涯スポーツ活動の推進」「市民が、スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来る」に結び付くことができる。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 多目的グラウンド、テニスコート、ターゲットハード場、芝生広場と利用頻度は高いが、老朽化により修繕箇所が増えている。修繕することで利用者増が見込まれる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市内においては、同施設がないため、統廃合は困難である。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 立木伐採等の委託について、一般職非常勤職員による作業により、出来る限り削減をすることは可能である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則から、平成25年度より使用料（減免）の見直しを行い、減免率は下がった。現状では公平性は確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。無駄なく施設の利活用ができるよう利用調整の密度を上げる。また、施設新設から年数が経っていることから、今後計画をもって修繕整備が必要となる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
・安全管理をするうえで必要不可欠な工事費、修繕等の予算獲得が困難な状況であるが直営にて対応している。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ③																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>